

だけどもね。本田さんは鈴鹿市にいろいろなお金を出しているし、記念館設立のときも本田さんが金をだしてくれたという話も聞いたような気がする。

**清水** 会はそこでするんですか。

**幸綱** そう。佐佐木信綱記念館で。

**加古** パーティはどこかの会館みたいなところでやりましたね。名古屋にいた時に一回だけ、行ったことがあります。

**幸綱** 白子駅近くのホテルです。

**清水** 頼綱君がいつもこのときの写真をツイッターとかにアップしているんです。学校の何かが写っていたけれど。

**幸綱** 今年は信綱記念館が改装中なので、学校でやった。特に今年は、コロナで密集してはいけないということで、大きな体育館に二百人とか来て、寒かったんだよねえ。

▽天安門事件直前の中国旅行、一九八九年

**高山** そろそろ次の話題に移りましょう。

「朝日歌壇」の旅で、一九八九年に天安門事件直前の中国を旅行されました。

**幸綱** バブルの時代、朝日歌壇の選者を表に立てて、朝日旅行社がツアー参加者を募集する。そんな企画が五年間くらいあったかなあ。僕もそのことで、いくつか、外国旅行、まだ行ったことのないところに行

かせてもらいました。例えばエジプトとか。その中の一つが中国旅行です。うちの家族、朋子、頼綱、定綱、佐佐木由幾と一緒に行ききました。あと、十数人の参加者がいて、二十人くらいの旅でした。天安門事件の前で、中国にゴルバチョフが来ていたとか、いろいろながあって、記憶に深く旅でした。ここにいる黒岩君も一緒に連れてくれた旅だったので、ここで話題にしてはどうだろう。

**清水** 期間は一週間くらいですか。

**黒岩** ちょうどそのくらい。

**清水** 中国のどこに行かれたのですか。

**黒岩** 旅程表では、五月十二日の金曜日に羽田を発って、大阪から合流する人たちもいたので、大阪空港まで行って、そこを経

由して上海に入りました。

その日は飛行機がちよっと遅れたので、上海から杭州まで新幹線みたいなので行く

はずが、ツアー全体がそれに乗り遅れて、

しよがないから特急列車に乗ったけど、

予約がないので、みんなバラバラに座るし

がなく、幸綱先生と僕と頼綱君とでボックスに座って、もう一人は全然違う中国人が

座っていたりするわけだ。そこで、セブン

ブリッジをやったりして、頼綱君がボロ負

けしたり（笑）、そんなことがあって杭州

まで入りました。

杭州には三泊して、杭州から日帰りでお興に行つて魯迅の旧居を見たり。杭州から蘇州に行つて、揚州に行つて、鑑真ゆかりの大明寺を見たり。最後に上海に戻つたら、ちよどゴルバチョフも来ていて、僕らが上海空港から大阪に飛び立つとき、ゴルバチョフもモスクワに向けて飛び立つ日で、厳戒態勢が敷かれていた。まだ上海はのんびりしていたが、北京ではハンガース

